



あなたの住まいは大丈夫？

～大地震に備えて、富山県は住宅耐震化を支援いたします～



大地震は他人事ではありません

2016年の熊本地震をはじめとして、北海道胆振東部地震、大阪府北部地震、福島県沖地震と全国各地で大地震が頻発しており、この1年だけでも震度5弱以上の地震が10回以上発生しています。



富山県での大地震という1858年の飛越地震までさかのぼりますが、隣県で中越地震、能登半島地震、中越沖地震と続けて発生しており、能登半島地震の際には約700棟もの住宅が全壊しました。

富山県は、1981年の新耐震基準導入以前に建築された建物の耐震化を図り、建物の安全性向上を目的とした耐震改修促進計画を作成しています。その中で住宅の耐震化率を2013年の72%から、2025年までに90%へ引き上げることを目標としています。

2018年の住宅・土地統計調査の結果から推計した富山県の住宅耐震化率は約80%で、順調に推移してきていますが、全国平均の87%に比べ高い水準とは言えません。

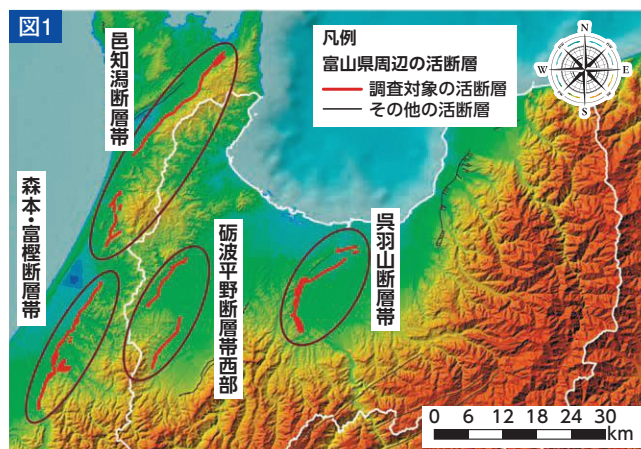


図1 富山県周辺の活断層分布図。凡例：富山県周辺の活断層（赤線）、調査対象の活断層（赤太線）、その他の活断層（黒線）。図中に邑知潟断層帯、砺波平野断層帯西部、森本・富樫断層帯、呉羽山断層帯が示されている。スケールは0-30km、方位はN-E-S-Wで示されている。

図2

被害の予測

		呉羽山断層帯 (H23.6公表)	砺波平野断層帯西部 (H30.2公表)	森本・富樫断層帯 (H30.2公表)	邑知潟断層帯ケース4 (H30.2公表)
物的被害	建物 全壊 (棟)	90,424	14,312	3,545	89,066
	建物 半壊 (棟)	273,752	42,842	21,156	80,590
	火災・延焼 (棟)	3,711	102	0	1,008
	落下物 (棟)	37,390	2,967	264	46,287
人的被害	死者 (人)	4,274	431	65	3,557
	負傷者 (人)	20,958	5,795	2,104	19,590

人的被害(予測死者数)の軽減効果の予測

	想定時の耐震化率	住宅の耐震化率が向上した場合※	
耐震化率	72%	85%	90%
砺波平野断層帯西部	431人	234人 (▲197人)	158人 (▲273人)
森本・富樫断層帯	65人	34人 (▲31人)	23人 (▲42人)
邑知潟断層帯ケース4	3,557人	2,215人 (▲1,342人)	1,701人 (▲1,856人)

	想定時の耐震化率	住宅の耐震化率が向上した場合※	
耐震化率	68%	85%	90%
呉羽山断層帯	4,274人	2,107人 (▲2,167人)	1,879人 (▲2,395人)

※県耐震改修促進計画(R4.3改定予定)の住宅耐震化目標(R7耐震化率90%)

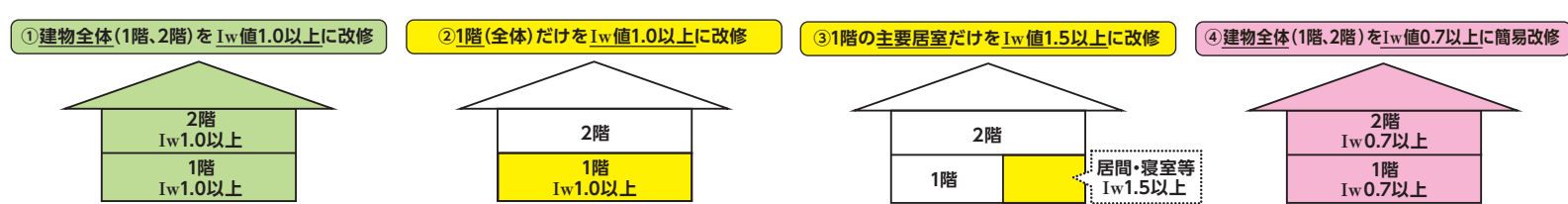
図3

昭和56年5月以前に着工した木造住宅は、耐震診断を受けましょう！

※昭和56年6月に耐震基準が見直され、それ以前に着工した住宅に被害が多く発生しています。



図4 補助の対象となる工事



住まいの耐震化を支援いたします

富山県では木造住宅の耐震診断および耐震改修を支援しています(図3)。

対象に該当する住宅であれば県が費用の約9割を負担し、実質的な自己負担が2千円～6千円で耐震診断を受けていただくことができます。

残念ながら、耐震診断結果がよくなくとも「費用負担が大きいから」と耐震改修を実施しない方が多くいらっしゃいます。富山県の住宅は全国と比べて規模が大きく(平成30年住宅土地統計調査・持ち家延べ面積 全国119.91平方メートル、富山県170.80平方メートル全国第1位)、その分耐震改修の費用も高額になつてしまう傾向は確かにあると考えます。

安全・安心な住まいづくりへ

令和2年8月に、富山県や市町村及び建築関係団体と住宅金融支援機構が連携し、県内の住宅耐震化を促進する「富山県住宅耐震化促進協議会」が設立されました。県

民の笑顔・活力を生み出す基盤は「安全で心豊かな住まい」であり、豊かで快適な住生活を営むことで、県民の明日への活力の源となります。富山県住宅耐震化促進協議会は、これからも関係団体の連携をより深めながら、それぞれが持つノウハウ、強みを活かして、住宅の耐震化を促進する様々な活動を展開していきます。

住宅金融支援機構から融資制度のご案内

■耐震リフォーム融資

住宅の耐震性能を向上させるリフォーム工事をする際に利用できる融資です。耐震リフォーム工事とあわせて行う修繕・模様替え工事費用等も融資対象となります。満60歳以上の方は毎月の支払いを利息のみとする「高齢者向け返済特例」をご利用できます。

耐震リフォーム融資 詳しくはこちら▶

高齢者向け返済特例 詳しくはこちら▶

■リ・バース60

満60歳以上の方向けの住宅ローンです。住宅のリフォームや建築・購入等をする際にご利用できます。毎月のお支払いは利息のみであり、元金については、お申込みされたお客さま全員が亡くなられたときに相続人の方から一括して返済いただくか、担保物件(住宅および土地)の売却により返済いただけます。

リ・バース60 詳しくはこちら▶

リ・バース60 取扱金融機関 詳しくはこちら▶

※住宅金融支援機構は、この他にも、全期間固定金利の住宅ローン「フラット35」や、耐震性の高い住宅を建てる際に「フラット35」の借入金利を一定期間引き下げる「フラット35」Sで、良質な住宅普及を支援しています。

お問い合わせ先

- 耐震診断支援に関するご相談 (一社) 富山県建築士事務所協会 076-442-1135
- 耐震改修支援に関するご相談 各市町村建築主務課又は富山県土木部建築住宅課 076-444-3356
- 耐震改修等の設計・工事にに関する一般的なご相談 とやま住宅相談所 076-441-6312

- 耐震リフォーム融資に関するご相談 住宅金融支援機構 北陸支店 地域連携グループ 076-233-4254 9:00～17:00(土日祝日・年末年始を除く)
- リ・バース60に関するご相談 住宅金融支援機構 [リ・バース60] ダイアル 0120-9572-60 9:00～17:00(土日祝日・年末年始を除く)

【富山県住宅耐震化促進協議会 構成団体(令和4年2月28日現在)】
富山県、富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町
(一社) 富山県建築士事務所協会、(公社) 富山県建築士会、(一社) 富山県建築組合連合会、(一社) 富山県優良住宅協会、(一社) 富山県住宅地協会、(公社) 日本建築家協会北陸支部富山地域会、(一社) 富山県建設業協会、(一財) 富山県建築住宅センター、(独) 住宅金融支援機構北陸支店

住まいのしあわせを、ともにつくる。
住宅金融支援機構